

---

# 幻狂

カレン

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

幻狂

### 【Nコード】

N8965Z

### 【作者名】

カレン

### 【あらすじ】

殺し屋として、生きてきた俺の目の前に現れた2人組。

何と、その2人組は天界と魔界から来たと言うのだ。しかも、2人組は変な能力を持ってたり、持ってなかったり。

自分の親探しを、手伝ってくれるといい、仕方なく一緒に居たら襲われたり、命が狙われたり、もう巻き込まないで…。

# 第一章 一話

東京都

廃ビル

午前1:06

古びた廃ビルの中に歩を進めば、数十人の人影が現れる。

「どんなでけえ男が来ると思いきや、まだガキじゃねえか！しかも、女！」

「お頭が出る幕じゃねえよ。俺達が殺るぜえ。いいよなあ？お頭あ！」

「ああ、いいぜ。お前ら殺れえ！！！」

集団のトップだと思つ男が、合図すれば下卑た笑い声の野郎共が金属バットやらナイフやらを持って襲いかかって来た。

「うおらあつ！」

「ちっ…うぜえなあ」

「なっ！？…ぐああ！」

初めに殴りかかってきた男の耳を思いつきり捻り隙が出来たのを狙い、顔面に蹴りを入れる。

今度は、3人同時に金属バットで殴りかかってきたので、軽く2mぐらいジャンプをし躲す。

ガキイイッン

「つてえ！」

「なっ！いつ…！！！」

「いつてえ！！！！糞ガキがあ！」

金属バットが思いつき同時に当たれば腕は痛いはず。その隙を狙って、金髪のおっさんに踵落としをし、残り2人の両目の中に指を入れ抉り取る。

「があっ!?!」

「ぐああああ!!!」

落ちてた金属バットを2本拾い後ろに居た2人の股間目掛けて、思いつき殴る。

「ぐつああああ!!!」

金属バットを持って、襲いかかってきた野郎共の顔面目掛けて、殴る。

近くに居た金髪のおっさん数名目掛けて、金属バットで殴りかければ、立っている奴はいない。

「はあ…。お前らの部下全員倒したぞ。出て来いよ」

「…頼む!助けてくれ!金ならいくらでもやる!だから、命だけはっ!」

「いくらでも?!?いくらまでなら出す?」

「1000万!1000万出す!何が望みだ!?欲しいものなら、何でも買ってやる!だから、殺さないでくれ!!!」

「…分かった。お前を殺さない。その代わりに、睦月五郎の死体の写真を渡せ」

「…睦月五郎?…ああ!あいつか、それならここに有る!」

そう言って、自分の胸ポケットから写真を出して来た。受け取って見れば、黒のTシャツ、金髪でオールバック、両腕に龍のタ

トウー。依頼通りだ。

「…確かに、睦月五郎だ。だがな、お前は生かしておけないんだよ」

驚いた顔で、逃げようとしてる相手の首目掛けてズボンのポケットに居れておいた、折りたたみ式のナイフを出し、切り裂く。

切り裂けば、真っ赤な血飛沫が飛び散る。

「あーあ、服が汚れたし。うぜえ」

## 第一章 一話（後書き）

まあ、成り行きで書いたのでもここまで続くかは分かりません。

## 第一章 一話

東京都 航空内 午後2:53

「なあ、本当に此処にアイツがいるのか？」

「…いるはずだよ。ボスがそう言ってるんだから」

「そう言ったって、ボスの言うことなんて、当てになる訳ねえだろ。その証拠に、何十年アイツを探してると思うんだ」

「12年」

「ほら、見る！当てになる訳ねえだろ」

「当たり前でしょ！天界と魔界にまで行って、探したんだよ！」

「あー、ピーピーうるせえなあ」

「…大丈夫だつて。今度は、正確なんだから」

「ああ？正確つっても、東京都の鳴守町だけじゃねえか」

「1回ボスを信じてみてよ。ボスの勘は以外に当たるんだから」

「勘かよ！？うっそ！？マジ勘で此処に居るって思ったの？！」

はあ、面倒くせえなあ〜何で俺がアイツを探さなきゃいけないんだよ。探したとしても、もう死んでるかもしれねえのに。例え生きてても、ボスだったら、嫌だわあ。もし、美人だしたら、えっ！と今は12だから、まああと、4、5年したら喰うか。

「…ねえ、今、変なこと考えなかった？」

「か、考える訳ねえだろ！？」

やばい。笑みが黒い。よし、喰うのは諦めよう。うん、そうしよう。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8965z/>

---

幻狂

2012年1月3日03時52分発行